

第9回千歳市観光振興基本計画策定懇話会（結果）

1. 日 時：平成22年12月21日（火）午前10時00分から午後12時00分
2. 場 所：千歳市社会福祉協議会 2階 会議室2・3
3. 出席者：千歳市観光振興基本計画策定懇話会委員11名  
浅川和恵、内田純一、菊地和宏、岸田真知子、榊原達也、佐々木智秀、  
佐藤公彦、白石一人、星野一博、宮本伸司、柳谷牧子
4. 議題等：①千歳市観光振興計画（素案）について  
②意見交換  
③その他
5. 結 果：①②③の発言趣旨は別紙のとおり。

## 【発言要旨】

議事経過の概要は次のとおりである。

### 議題 2. 意見交換について

#### <委員>

- ・ 「キャンプ場の環境整備」の実施主体が「行政」になっているが、オコタン野営場まで視野に入れると民間も入ってくるのでは。美笛とモラップだけであれば、行政でも良いが。

#### <事務局>

- ・ 行政が持っている美笛の整備をイメージしている。オコタン野営場については、民間施設なので含んでいない。

#### <委員>

- ・ 各項目について、今後の施策展開が一覧になっているのは分かりやすい。その中で、着手時期の欄があるが、ほとんどが前期になっている。あえて前期・後期の欄を設けて整理した意図はあるのか。

#### <事務局>

- ・ 計画は 10 年間のもので、中間年で見直すことになっている。世の中の動きなども見ながら、必要があれば 5 年目で一度見直しを行う。
- ・ 内容としてソフト事業が多い。ハード事業と違って完了という時点がないので、手を付けられるものは、なるべく前期のうちに手を付けていきたい。計画は 10 年計画であるが、20 年～30 年と続くものも出てくる。

#### <委員>

- ・ 後期に○がついているものは、何か事情があるのかと思って質問した。例えば、「観光事業者を対象とした観光知識の普及」はすぐにできそうな気がするが、何か意図があって後期になっているのか。

#### <事務局>

- ・ 「観光資源データベースの構築と活用」を先行させて、それができた段階で、観光事業者への知識の普及につなげていきたい。

#### <委員>

- ・ 調査が必要で、それを踏まえて行うべき事業については後期にしているととらえて良いのか。
- ・ 「多様化するニューツーリズムに対応するための連携強化」も同じような考え方か。

<事務局>

- ・ ニュートゥリズムについては色々な動きがあり、市内でも連携する組織ができておらず、環境が整っていない状態にある。

<委員>

- ・ 後のフェーズに持っていた方が良いものが、後期の施策になっていると理解した。

<委員>

- ・ あえて前期・後期に分けなくても良いのではという印象を持ったが、10年間の計画ということなので理解した。

<事務局>

- ・ 調査を行った結果を検討するのに時間がかかるので後期にすることであれば分かるが、すぐに始められる内容であれば、部分的に来年からでも進めることができる。

<委員>

- ・ 意図的にフェーズを後半に持って行った方が良いものについて、再吟味していただきたい。

<委員>

- ・ 予算措置の見通しについて伺いたい。計画期間の10年間でいくらの予算を投じます、前期でいくらの予算がありますということではなくて、単年度毎の予算要求になるのか。
- ・ 多額の費用が掛かりそうなヒメマスふ化場の整備などは、予算の見通しがあって盛り込んでいるのか。

<事務局>

- ・ 大きな事業は複数年度で予算を組むが、基本的には単年度予算。
- ・ 長期的な事業計画があり、ふ化場の整備については10年間の前半で整備できる見通しを持っている。ヒメマスの安定供給に向けた施設整備は、優先順位が高い。
- ・ 実施計画的なものを作って、向こう3年間の予算について見通しを立てながら予算計上している。国や道の予算を見ながら、整合性をとっている。

<委員>

- ・ 計画全体として、向こう10年の戦略的な計画というよりもイメージ的な要素が強い。
- ・ 基本コンセプトの中に、「空」「水」に加えて、グリーンツーリズムを連想させる「土」を入れてはどうか。
- ・ 観光客へのアンケート調査についても、調査地点の数が不十分なのではないか。
- ・ 千歳は観光消費金額が低いとあるが、新千歳空港とアウトレットモールについては消費金額が低いとは違うイメージがある。指標についても、観光消費金額だけでなく、入込数や滞在日数など施策にあった考え方があっていいのではないか。

- ・ 観光振興計画は、もう少しアクションプランに近くあるべき。イメージ的な内容が多く、あまり積極性が感じられない。
- ・ 千歳市が公的セクターとして何をすべきかを整理して、その後に民間が取り組むべきことを整理することが必要ではないか。
- ・ 施策の中に既に取り組まれているものもあるが、あまり戦略的とはいえないのではないか。
- ・ 計画の柱が4本あるが、千歳観光の中核は空路であり、空路の維持や拡大も重要ではないか。
- ・ 情報通信についても、「高速通信網の整備促進」の実施主体が「民間」となっているが、行政としてどのように考えているのか。
- ・ 国の観光立国推進基本計画が定められており、国や地方公共団体、民間事業者、住民の役割が定められている。計画の内容に先駆けて、それぞれの役割を示すべきではないのか。
- ・ 観光は裾野が広い産業である。想定される実施主体で、民間の「観光事業者」や「その他観光関係機関」の「観光」は足りないのでは。観光を入れると狭くなってしまう。観光に直接関係のない、医療関係者なども関係があることを示していくべき。グリーンツーリズムの話もあるので、農業団体なども含めて（その他団体に含むのかもしれないが）。
- ・ 誘致宣伝活動で、「温泉旅館組合」の固有名詞がここだけ出ている。市街地の方では、それ以外の様々な団体がある。温泉旅館組合以外の主体を含めた、幅広い全市的な体制とすべきではないか。
- ・ ニューツーリズムについては、幅広い方が関わることを示すために、行政が考えるニューツーリズムの定義を示すべきではないのか。
- ・ 「飲食店に関する最新情報の整理と提供」は、飲食店のみにせず商業施設や観光施設も入れるべきでは。
- ・ 情報発信について事業者が旅行博に参加する機会を増やすとあるが、行政としての独自の施策を示すべきではないのか。

#### <委員>

- ・ 今のご意見はアクションプラン的な意見である。アクションプランであれば、この30倍はやらなければならない。この計画がアクションプランではないということは、第1回第2回の懇話会で確認をしたはずである。
- ・ 個別について、具体的なものが足りないと言うのであれば、そもそもの主旨が違う。
- ・ 今まで委員として我々も参加してきた中で、はなから全て否定するのは委員として無責任ではないか。その都度、どうしても譲れないところがあれば委員として話すべき。
- ・ 十人十色の意見が出た中で形にするべく事務局がまとめている案であり、今回は最終回なので、事務局がまとめる作業の中で大きく違うものになってしまったというようなところに意見をしないと、はなから否定されるのであれば、委員として何のためにこれまで意見を出してきたのか。
- ・ 計画全体のあり方を否定するのでは、この場が非建設的なものになってしまう。

#### <委員>

- ・ 全てを否定しているわけではない。これまでの議論の積み上げは生かしていくべき。

<委員>

- ・ 基本コンセプトについては、懇話会で十分な議論が行われていることもあり、このままです承いいただきたいと思うが、どうか。

<事務局>

- ・ 懇話会の中では、「土」という意見は出ていなかったが「緑」という意見は出ていた。ただ、緑は他の多くのまちでも入っているキーワードだったので除いたという経過があった。

<委員>

- ・ 入れようと思ったら、土以外にもたくさん入る言葉はある。

<委員>

- ・ 千歳のイメージなので、空や水という言葉の方がイメージに合う。

<委員>

- ・ 千歳市としての観光に対する姿勢を示すキーワードが計画の基本コンセプトになるはず。

<委員>

- ・ 懇話会の中で、農村地区に関する議論（グリーン・ツーリズム、パレットの丘）もかなり出てきた。それを入れるのであれば、コンセプトのサブタイトル「豊かな自然（水・緑・温泉）と交通アクセスを生かした観光地づくり」の（水・緑・温泉）の中に、農村・農園を加えることはできないか。

<委員>

- ・ 「緑」と聞くと、自然の緑を思い浮かべてあまり農業というイメージがない。

<委員>

- ・ 3つの地区で観光を考えるならば、豊かな自然や大地など農村をイメージさせる言葉が抜けているのは確か。

<事務局>

- ・ 現在、農業振興計画の策定も進めている。そちらは農村に特化した計画。自然の中に水・緑・温泉の3つを入れているが、あまり羅列するのは良くないと思っているので、温泉を入れるかどうか迷った。水と緑の2つが自然の内容としてはふさわしいのかもしれないが、特に支笏湖の温泉は重要だろうということで温泉を加えている。
- ・ 皆さんが変更を望んでいるのであれば、農業に関するキーワードを検討する。

<委員>

- ・ 基本コンセプトの下に書いている説明文に、農村というキーワードが出てくるので、原案通

りでも構わないのではないかと。

<事務局>

- ・ 緑という言葉が、支笏湖の自然だけでなく、農村地区のイメージを兼ねた意味を持っている。入れるのであれば土というよりは、豊穰の秋か。

<委員>

- ・ 田園風景などの言葉を入れるのであれば、豊かな自然の後の（ ）をとって、農村風景や食に関する言葉を入れてはどうか。

<委員>

- ・ 「空が結ぶまち」は、市民だけでなく外の人たちにも千歳を連想しやすい。「水が繋ぐまち」でどこまで支笏湖や千歳川を連想するか。そういう違いがある。本当に農村を中心とした観光を進めるとすれば、農業や農村景観が前面に出てこなければならない。たくさん入れれば良いということではない。
- ・ 基本コンセプトと書いているが、ある種キャッチフレーズでイメージの世界。基本コンセプトの後に「豊かな自然～」と書いているが、民間事業者が使う場合は上の部分しか使われなない。下に何を入れるかという議論は違う。
- ・ 民間事業者がこの基本コンセプトを使って、農村のプログラムを入れようと思ったら「水」という言葉が使える。水は農村にとって、土と同じかそれ以上に重要なもの（土がなくても農産物が生産できる時代）。豊かな水という部分で、完結できるのではないかと。

<委員>

- ・ 基本コンセプトはこのままいじらずに、農家の認識を高めるようなものをより強く出すということを考えていくということでしょうか。

<委員>

- ・ 観光に対してどう取り組んでいくのかという姿勢を表すキャッチフレーズになれば。

<委員>

- ・ 懇話会の中で投票で決めた基本コンセプトなので、この部分を変えるのではなく、下に入っている文言の中に入れても良いのかと思っている。

<委員>

- ・ それでは、基本コンセプトのメイン部分自体は変えないということを共通認識にさせていただきたい。コンセプトの下の文言については、もう少し工夫の必要があるということでしょうか。

<事務局>

- ・ コンセプトの下の文言については、文字数の関係もあるので事務局預かりとしたい。

<委員>

- ・ 原案に賛成という意見もあるのではないか。

<事務局>

- ・ 皆さんの意見としては、コンセプトも下の文言の部分もこのままで良いという意見が多いという認識で良いのか。それとも下の文言については変えるべきだという意見なのか。
- ・ 皆さんが変えた方がイメージが湧きやすいということであれば修正したい。変えなくて良いという意見が多いのであれば、このままとしたい。

<委員>

- ・ このままで良いのではないか。個々の施策が大事なのであって、コンセプトをあまりいじる必要はない。ぱっと読んで千歳が頭に浮かんでくる。あれもこれもとやらない方が返って良いのではないか。

<委員>

- ・ どうしても農村のイメージを入れたいのであれば、「緑」を「みのり」にするという方法もある。このままでも十分にイメージは伝わる。「豊かな自然」で緑が連想できるのであれば、緑を入れなくても良いのでは。

<委員>

- ・ 基本コンセプトについては素案のままという意見が多かったが、若干のコメントがあった。

<委員>

- ・ キャッチコピーやイメージ的な扱いならこれでOKだが、千歳が目指す基本コンセプトとしてはどうなのか。

<委員>

- ・ コンセプトの中でも「基本コンセプト」となると、ビジョンとかスローガンに近くなる。ここで書かれていることは、スローガンに近いものと捉えるべき。
- ・ 各コンセプトの部分が「施策の柱」なんだと捉えると良いのではないかと。

<委員>

- ・ 総合計画があって、それが枝分かれしてそれぞれの計画があると思うが、総合計画の中における観光の位置付けはどうなっているのか。
- ・ 個別計画の一つであるということは、親元になる計画における考え方はどうなのか。

<事務局>

- ・ 第6期総合計画は今年度策定中で現在議会を通ったところ。観光分野についても、その中で大きな指針と方向性を示している。その方向性をもう少し具体的に示すのが観光振興計画になる。
- ・ どこに予算を付けるのかは、総合計画の中の実施計画に盛り込まれている。具体的な施策の予算付けは、緊急性や必要性を精査した段階で実施計画の中に載って予算が確保される。
- ・ 観光振興計画の中身も、実際の取組をできるだけ分かり易くということで、「◎」と「○」に分けた。◎についてはできるだけ早く実施する施策ということ。

<委員>

- ・ 親元に総合計画があって、そこから枝分れしている。農業振興計画も観光振興計画も同じ位置付けになっている。

<事務局>

- ・ 総合計画の中でまちづくりの根幹をなすものは整理されていて、それぞれの具体策について計画を策定している。

<委員>

- ・ 基本コンセプトについては、原案どおりで進めたいと思う。
- ・ 続いて、公的セクターとしての役割や、行政・民間・住民の機能分担などについて意見をいただきたい。

<事務局>

- ・ 実施主体の中で「行政」と書かれているのは、ほとんどが千歳市を指している。若しくは、国や道が取り組むもので、市が関わらないものはない。そこは明確になっている。
- ・ 国の協力や補助を受けて取り組む事業も多い。特に、支笏湖は市単独ではなく環境省と協力しなければ事業ができない。

<委員>

- ・ この計画は市民に示される。国の計画から説明して、国の役割、道の役割、千歳市の役割、民間事業者の役割、市民の役割と説明した方が分かりやすいのではないか。

<委員>

- ・ この計画は、法で定められて各地方公共団体が策定する計画ではないので、国の計画から順に説明する必要はない。関わってくる計画も、観光に関わる計画だけでなく森林法や自然公園法などもあり、全て盛り込むことはできない。
- ・ 法で定められているのであれば従わなければならないが、そういう話ではない。今から、この計画の並びを変えることは無理なのは。
- ・ この場は、懇話会としての意見を述べる場所である。

#### <事務局>

- ・ 昔の計画は、国の責務、道の責務、市町村の責務などを書いていたが、最近の計画書を見ると、そういう内容は書いていないことが多い。それは、役割の垣根がだんだんとなくなってきたからではないかと考える。
- ・ 代わって、作った計画を絵に描いた餅にしないように、推進体制をどうやって構築していくのか、計画の進捗管理をどうするのかなど、計画の実効性を担保するなどの内容を盛り込んでいところが多い。
- ・ 事務局としては、役割分担を記載するかどうか検討を行ったが、最近は書いていないことが多いということもあり、現時点では計画の中に盛り込んでいない。

#### <委員>

- ・ 役割分担については、実行主体が変わらないものについては書くべきだと思う。ただし、市の場合は国や道の事業との協力体制が出てくるので、役割を決めておいても変わる可能性が高い。むしろ、やるべきことを約束してもらった方が、有効な計画書になる可能性が高い。
- ・ 役割を書くことのメリットはあるが、やるべきことを約束することに集中した計画書にした方が良いと思う。

#### <委員>

- ・ 計画に対してそういう意見があったということは記しておいてもらって、この場では会長の考え方でまとめてもらえれば。

#### <委員>

- ・ 「支笏湖周辺には、登山に適した山々」とあるが、「登山を楽しめる山々」という表現にして欲しい。なぜかという、樽前山などは登山を楽しめるが、崩れやすく、登山に適したという表現は気になる。
- ・ 「支笏湖の魅力を伝える案内体制の整備」で「支笏湖の魅力を観光客に分かりやすく説明することのできるガイドの育成に努めます。」とあるが、この文章の最初に「資源の保全、魅力、利用者の安全管理に正しい技量と知識を持ち」という表現を入れて欲しい。安全管理に不十分な知識のガイドや、資源を荒らしてしまうガイドもいる。市としても自然を守る姿勢を出した方が良い。今すぐには難しいかもしれないが、今後10年間では重要な課題となる。
- ・ 「事業者の収入増加」の次のサイクルに、「新たな設備投資」などに加えて「資源への還元」も可能であれば加えて欲しい。1%でも資源への還元があると、資源を守りながら魅力づくりを進めることができる。

#### <委員>

- ・ 以上の3点は自然保護の専門家からの意見であるが反映は可能か。

#### <事務局>

- ・ 今の意見は、重く受け止めたい。

<委員>

- ・ 観光振興のサイクル図で「市内観光事業者の収入増加」とあるが、観光以外の事業者にも波及するので、「市内事業者」が良いのではないか。
- ・ 観光振興のサイクルで「観光消費額の増加」が最初に来ているが、「観光客・宿泊客数の増加」が上に来た方がスマートではないか。消費金額を指標としてみるのか、目的としてみるのかで変わってくるが。

<委員>

- ・ 確かに、いきなり「観光消費金額の増加」が来ると違和感があるかもしれない。順番を変えて欲しい。
- ・ 観光事業者の「観光」を消してしまうと何のことかわからないということもあるが、新しいツーリズムの動きを考えると、「観光」がない方がむしろ良いのかと思う。

<事務局>

- ・ 「観光事業者」という言葉は計画書全体にたくさん出てくるので全体の整合性が必要になる。

<委員>

- ・ それでは、観光事業者以外にも自分たちのことだと思ってもらえるように、「観光事業者・関連事業者」という表記は可能か。

<事務局>

- ・ 「事業者」に統一するか、「観光事業者・関連事業者」にするか、全体を見ながら検討したい。
- ・ 委員から出された意見については、事務局で内容を精査し、検討できるものは検討したい。

以上